

みんなで創ろう！世界に誇れる やさしいまち TOKYO
平成15年度豊かなふるさとづくり全国フォーラム

主催：国土交通省、農林水産省、環境省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、環境省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省
共催：国土交通省、農林水産省、環境省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省
協賛：国土交通省、農林水産省、環境省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省



平成15年度

豊かなふるさとづくり 全国フォーラム

みんなで創ろう！
世界に誇れるやさしいまちTOKYO

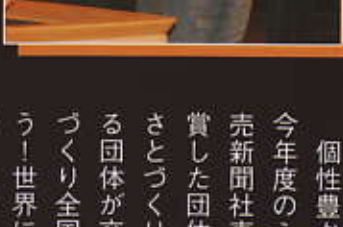
～山の手 川の手 下町人情～



ふるさとづくり賞表彰式



シンポジウム



個性豊かなふるさとづくりに取り組み、今年度のふるさとづくり賞（当協会、読売新聞社東京本社、NHKが主催）に入賞した団体の表彰式と、全国各地でふるさとづくり、地域づくりに取り組んでいる団体が交流を深める「豊かなふるさとづくり全国フォーラム—みんなで創ろう—世界に誇れるやさしいまちTOKYO—山の手 川の手 下町人情—」が昨年十一月十一・十二日の両日、全国からおよそ三百二十一人の参加を得て、東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」で開催された。表彰式や受賞団体の活動の紹介に続き、午後からは、「人・自然・社会・ふるさとルネッサンス」地域の再生に向けての新たな挑戦—をテーマに内閣総理大臣賞受賞団体がパネラーとして登壇してのシンポジウムが行なわれた。

夕方からは「交流のつどい」が開催され、全国でふるさとづくり、地域づくりに取り組む人たちが新たな交流をつくる場、さらには旧交を温める場として盛りあがった。地元東京の参加者が獅子舞、大黒舞などの江戸囃子、南京玉すだれなどを演じ、参加者の喝采を浴びた。



交流の つどい



二日目の「ふるさとづくりネットワーク交流会議」では、「資源循環のまちづくりー減らす・使う・回すー」などをテーマに五つの分科会に分かれ、活発な討議が繰り広げられた。

今年度の内閣総理大臣賞には、東京都の「墨田区生活学校連絡会」（集団の部）、北海道の「富良野市」（市町村の部）がそれぞれ受賞した。墨田区生活学校連絡会は、地元の資源回収団体である東京都リサイクル事業団体連合会すみだと協働して、古紙百パーセントのトイレトペーパーや廃食油から環境にやさしい粉石けんを誕生させ、区内全域に広めたもの。

富良野市は、埋め立て処分場の閉鎖問題発端に、生ゴミを堆肥化し基幹産業である農業に活用し、分別品目の拡大に努めた。

内閣官房長官賞には、岩手県の「特定非営利活動法人「花巻文化村協議会」（集団の部）、秋田県の「琴丘町」（市町村の部）が受賞。主催者賞には、集団の部で五団体、市町村の部、企業の部で各一団体が、また、振興奨励賞には、集団の部で、二十七団体、市町村の部で三団体がそれぞれ受賞した。

入賞団体



右上段から

東京都・墨田区生活学校連絡会

北海道・富良野市

岩手県・特定非営利活動法人花養文化村協議会

秋田県・琴丘町

岩手県・大深沢水園委員会

秋田県・手這坂活用研究会

秋田県・にぐるまの会生活学校

埼玉県・おたかの森トラスト

岐阜県・特定非営利活動法人大垣おやこ劇場

岩手県・葛巻町

新潟県・チャレンジShopV